

化学工業日報

2016年(平成28年)

3月17日 木曜日

第23286号(日刊、土・日・祝日除く)

小型、安価な専用機

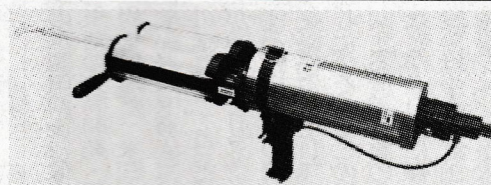
ポリウレタン塗料

東京メントナンスも容易

米ライノライニングスの日本総代理店である東京ライノ(東京都江戸川区、緒方修一社長)は、自社ポリウレタン樹脂塗料の専用小型スプレーガン

を15万円で発売する。コンプレッサーと接続し、その動力により2液を混合して吹き付ける仕組み。従来品に比べて価格を抑え、小規模面積の施

工に提案していく。ポリウレタン塗料は高い防水性、耐久性、伸び率を併せ持ち米国では屋根や床、トラック荷台などにも使用される。しか



「ライノプロ 1500」は、片手でも持てる小型サイズ

し、施工時に2種類の液をスプレーガンで混合・反応させる必要があり、日本では米国ほど普及が進んでいない。これまで東京ライノでは、米グラコ社製の大型

製品を主に提案してきたが、数百万という販売価格が障壁になっていた。新発売の「ライノプロ 1500」は、小売価格を15万円程度に設定し、手に持てるよう小型化した。2液が充てんされたカートリッジ容器をスプレーガンに取り付け、接続したコンプレッサーの動力で吹き付けて使う。容量は1500ミリリットルで、1回の施工面積は2平方メートル程度。ポリウレタン塗料は、使い残した際に反応が進んでガンの先端などが硬化することがあるが、新製品は使い切り容量。量が不足した場合、新品カートリッジを取り付けて作業を続ける。カートリッジ容器の中身は、まず汎用的な「ライノ・タフグリップ」とした。今後は遮熱機能もある屋根用の「ライノ・エココート」、フォークリフトの荷重にも耐える「ライノ・エクストリーム」でも、従来のドラム缶のほかカートリッジ型を追加していく計画。東京ライノは今回の新製品を入門機と位置付けており、大規模な工事を頻繁に行う業者にはグラコ製品も提案する。ドラム缶容器から直接施工できるのが特徴で、月数万円からリースも行う。